

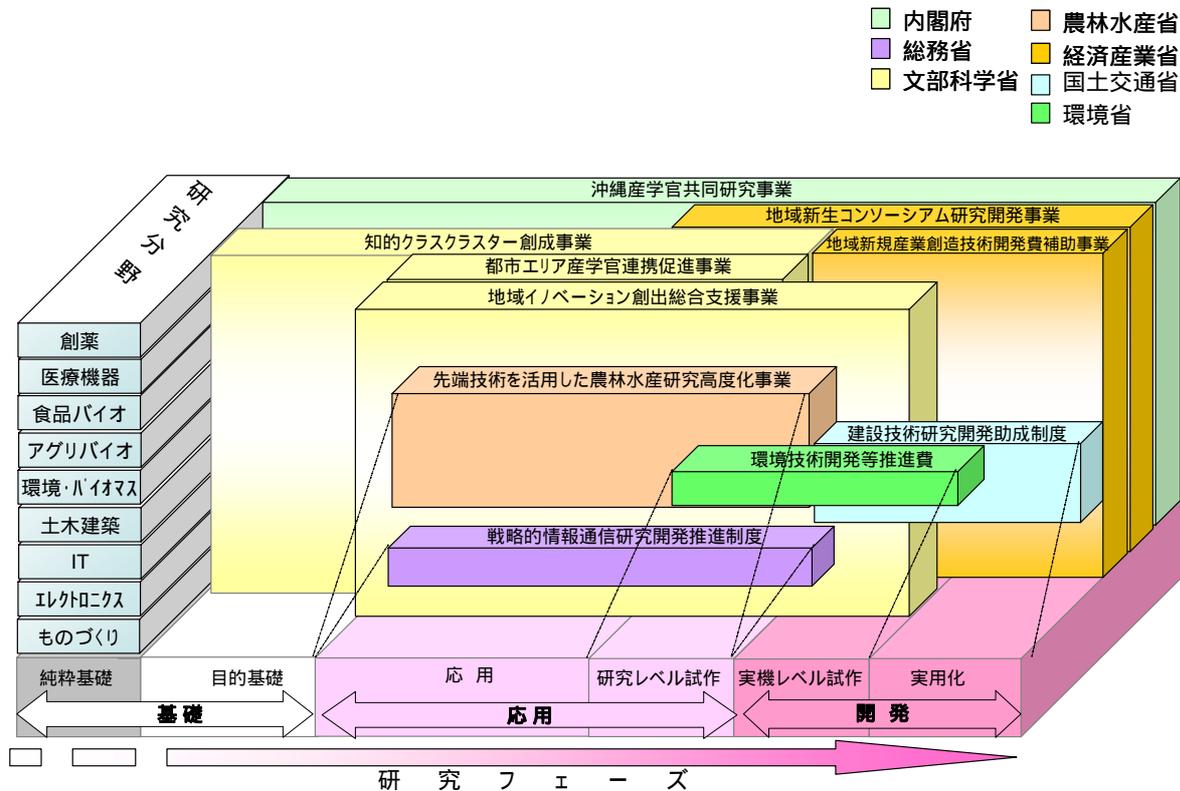
## 8 . 地域科学技術クラスター連携施策群

### 連携施策群の活動状況と成果

#### 1 . 地域科学技術クラスター連携施策群の目標

地域産業の活性化や我が国の科学技術力の強化のため、地域における科学技術振興の必要性が増している。このため、各地方公共団体が独自の施策を展開するほか、政府レベルにおいても、地域における科学技術の振興を図り、地域ごとに研究開発の核を形成することを支援するための施策が展開されている。これらの施策の連携を図り、施策の効果を最大限に発揮していくため、「地域科学技術クラスター連携施策群」が設定されている。これには、平成18年度現在、8府省の16施策が含まれている。（これらの施策のうち、研究助成事業の位置付けを参考までにイメージ化したのが下図である。なお、各事業の研究分野、研究フェーズに必ずしも正確に対応させたものではない。）

（参考図）地域科学技術研究助成事業の位置付け（イメージ）



本連携施策群の役割は、様々な施策の有機的な連携を図り、その成果を実際に地域経済の活性化に最大限につなげていくことであり、具体的には次のとおり目標を設定して活動を実施している。

#### 地域科学技術クラスター連携施策群の目標

##### 究極的目標

地域における革新技術・新産業創出を通じた地域経済の活性化を図ること。

##### 連携施策群の目標

地域科学技術政策利用者の利便性の向上

技術シーズから事業化にいたるシームレスな支援体制の構築

地域クラスター施策の成果分析に基づく効果的施策の検討

地域クラスターの形成を阻害する規制の改善等

各地域の事情に即した連携の促進

## 2. 地域科学技術クラスター連携施策群の活動状況

### (1) 府省間等連携の活動状況

#### 1) 連携システムの構築

地域レベルの連携を図ることが重要であることから、本府省レベルの連携にとどまらず、全国10のブロックに分けた協議会を設置するなどしながら、諸活動を実施している。

##### ワーキンググループ会合・タスクフォース会合

本府省レベルで施策に関する情報交換、連携方策等の検討、科学技術振興調整費で行っている補完的課題についての検討等を行うため、ワーキンググループ及びタスクフォース会合を5回(ワーキンググループ会合2回、タスクフォース会合3回)開催している。

##### 地域ブロック協議会の開催

平成17年度は、全国10ブロック中9ブロックにおいて、地域ブロック協議会・幹事会を開催し、各地域ブロックでの連携の進展の状況のレビュー及び平成18年度以降の連携強化等について情報・意見交換を実施した。また、連携群コーディネーターほかの担当者も協議会に出席し、地域ブロックの現状を把握し、議論に参加した。平成18年度も同様の活動を予定している。

##### 施策間での連携の枠組み

連携施策群を構成する施策

平成17年度 8府省16施策 70,332百万円

平成18年度 8府省16施策 81,535百万円

各制度における他府省連携枠の創設

それぞれの府省が行う施策をシームレスに結び付け、研究成果の実用化へ流れを加速するため、3つの制度において他府省の制度により生み出された技術を積極的に採択する他府省連携枠を創設している。

- ・ 知的クラスター創成事業の「連携プロジェクト」（文部科学省）

知的クラスターの成果を産業クラスターに繋げるため、産業クラスター参加企業と大学との新規共同研究を実施（H18：8.6億円、継続18件）

- ・ 地域新生コンソーシアム研究開発事業の「他府省連携枠」（経済産業省）

知的クラスター創成事業等他府省の研究開発施策で生み出された新技術シーズを切れ目なく実用化・事業化に結びつける（H18：25.4億円、採択20件、継続20件）

- ・ 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の「府省連携型研究」

（農林水産省）

他府省の基礎・基盤研究で生まれた技術シーズや他分野の研究成果を農林水産分野に積極的に応用する研究を推進（H18：2.5億円、採択5件、継続4件）  
制度を超えた政策支援面での連携の進展

上記の他にも、各地域ブロックにおいて、他府省の研究成果を別な府省の研究と結び付ける等実質的な府省間連携を行っており、地域新生コンソーシアム研究開発事業（経済産業省）においては、理化学研究所や宇宙航空研究開発機構、物質・材料研究機構といった他府省の独立行政法人が参画したり、知的クラスター創成事業（文部科学省）、先端技術を活用した農林水産高度化事業（農林水産省）、廃棄物処理等科学研究費補助金（環境省）等の成果を活用した研究が行われるなど、府省の枠を超えた継続的な研究が多く見られる。

各地域ブロックにおける連携の進展

各地域ブロックにおいては、次のようなかたちで施策間の連携を図っている。

- ・ 地域ブロック協議会の開催
- ・ 各地域ブロック内における地域科学技術振興施策についての情報共有
- ・ 地域科学技術振興施策に係る合同成果発表会の開催
- ・ " " に係る合同施策説明会の開催
- ・ その他地域技術関連イベントの共催、共同展示会の実施
- ・ 地域における科学技術ウェブサイト等の開設
- ・ 各機関担当者に対する研修会の実施

## 2) 予算への反映

関係府省連絡会、連携施策群WG、地域ブロック協議会の開催等情報交換を密に行っていることにより、各府省の担当者が他府省の施策についてもよく理解するようになっている。また、関係者の事前協議や情報交換などを行うことにより、施策間の不必要な重複は発生していない。

また、平成19年度概算要求に際しては、7月に関係府省からヒアリングを行い、予算要求及び執行にあたっての府省連携の観点から、「平成19年度概算要求及び執行にあたっての留意事項」をコーディネーター及び主監名で関係府省に示した。

## (2) 補完的課題の実施状況

連携のさらなる促進を図るため、科学技術振興調整費を活用し、効果的な地域科学技術クラスターの形成に係る調査研究を実施している。

### 1) 課題の概要

採択課題名：地域イノベーションの構造分析と施策効果（平17年度採択課題）

研究代表者：石川 健（株）三菱総合研究所産業・市場戦略研究本部事業開発グループ・グループ長・主任研究員

参画機関：（株）三菱総研、（財）全日本地域研究交流協会、東京大学、（株）東大総研

内容：地域の視点に立脚した地域科学技術クラスターを形成するに当たり、クラスター関係施策の現状についての包括的な把握・分析、地域イノベーションの波及構造分析、地域クラスターのネットワーク構造分析を行い、これらの分析に基づき、効果的な関係府省及び地方自治体の連携を促すためのスキームを提示し、政策提言を行う。

### 2) 実施状況

サブテーマ1 「地域におけるクラスター関係施策の現状と課題」

十勝地域（アグリ・食品バイオ）、神戸地域（メディカルバイオ）、北九州地域（半導体）における施策連携の状況とクラスターの発展に及ぼす影響、その課題について分析。

サブテーマ2 「地域におけるイノベーションの波及構造分析」

波及構造分析のための枠組みを提示するとともに、3つの地域において試行的に事例研究を実施。

サブテーマ3 「地域クラスターのネットワーク分析」

ネットワーク理論を応用し、北海道、近畿、北部九州の地域クラスターにおけるネットワークに着目した分析を実施。

### (3) その他新たな取組

地域科学技術ポータルサイトの整備

地域の企業等関係者等、地域科学技術施策のユーザーが、的確にかつワンストップで国や地方公共団体等の実施している地域科学技術振興施策に係る情報を取得することが可能となる地域科学技術施策全体のポータルサイトを構築した。(H18.3月末運用開始)

<http://www.prostera.jp/index.php>

【コンテンツ (H18.9月末日現在)】

- ・研究支援策検索 618 件
- ・研究テーマ検索 2,091 件
- ・地域科学技術関連ニュース 583件

## 3 . 地域科学技術クラスター連携施策群の成果

利用しやすい制度に向上

各府省が様々な事業を展開していたため、これまでは、地方の現場の利用者側にとって制度の違いなどがわかりにくいという意見があったが、地域ブロック協議会での活動を通じて連携の向上が図られた。

- ・合同説明会などによる制度利用者の利便性の向上。
- ・各制度の担当者が他の制度についても知識を有することにより、利用者に対して的確なアドバイスができるようになり、より適切な支援制度への誘導が図られるようになってきている。

支援の継続性が向上

研究開発の支援制度間で、優れた成果の連携を図るための特別枠を設けるなどにより、支援の継続性が向上している。例えば文部科学省所管の研究費で基礎的な研究を行い、その成果を基に経済産業省の制度で実用化に向けた研究を行うなど、制度間のつなぎを円滑に図り、実用化に向けたシームレスな研究の流れが形成されつつある。

情報活用の向上

地域科学技術ポータルサイトの整備により、地域における情報の共有・活用が進むとともに、研究成果の利活用が推進されている。

## 今後の課題と進め方

### 1. 今後の課題

各府省レベル、地域ブロックレベルにおいて様々な連携の取組が実施されているが、地域ブロックごとの取組状況の差なども見られる。このため、地域ブロック間の情報提供や働きかけを含め、さらに連携のレベルを高めていく必要がある。また、当連携施策群の目標達成に向け、より効果的な連携施策、手法を検討しながら実施していく必要がある。

### 2. 今後の活動予定

#### (1) 活動計画

平成18年度より、各府省及び地域ブロック協議会ごとに、アクションプランを定めて活動を展開している。

(本) ...各府省レベルの活動内容、(地) ...地域ブロック協議会レベルの活動内容  
地域科学技術ポータルサイト、地域における科学技術ウェブサイト等の改善、充実(本、地)

平成17年度末に開設した全国レベルのポータルサイトについて、利用者の意見を反映するなどしながら、より利便性を高めるなどの改善・充実を図る。地域ブロック協議会ごとのウェブサイトの開設による情報提供等を促進し、ポータルサイトとリンクした情報ネットワークの構築を図る。

他府省連携枠等の改善、充実(本)

各府省の支援制度間のシームレス化を進めるため連携の仕組みについて、より効果的な連携となるための方策につき検討するなど、改善・充実を図る。

出先機関への採択権限の委譲検討(本)

各府省の支援制度の審査・採択に関して、地域ブロック協議会側から現場レベルへの委譲の要望が出されていることについて、さらに検討を行う。

地域ブロック協議会による連携の促進(地、本)

連携の大きな主体である地域ブロック協議会の活動について、各地域ブロック協議会においてさらに活性化を図る。全地域の活動の実態把握、活動内容の比較や優れた取り組み事例などに関する取りまとめ、各地域ブロック間の情報交換、情報提供を促進する。

地域科学技術振興施策に係る合同成果発表会の充実(地)

” ”に係る合同施策説明会・公募説明会の充実(地)

その他地域技術関連イベントの共催、共同展示会の充実(本、地)

施策連携による効果、課題の把握（本、地）

科学技術振興調整費による調査研究により、調査対象地域の実態を把握しながら、施策の効果分析、課題の把握等を的確に行う。各地域ブロック協議会においても、施策の成果の分析に努める。

地域クラスターの形成を阻害する規制、問題点等の把握（地、本）

地域クラスター関連施策の周辺部分を含め、地域クラスターの形成を阻害する規制や問題点等につき、各地域ブロック協議会において実態に即しながら把握に努めるとともに、国のレベルに関わるものについては、関係府省において検討を行う。

地域における各種施策との連携（地）

地域クラスターのより効果的な形成のため、各地域における独自の施策との関係につき検討を行い、連携を強化する。

## (2) 対外発信、情報共有活動

各地方ブロックにおいて、合同成果発表会、事例集の作成等が行われているが、今後こうした取り組みを継続していくこととしている。また、各種の関係学会や研究会等の機会を積極的に捉え、本連携施策群の取組状況を発信することとしている。

# 地域科学技術クラスター 概要

## 目標

究極的目標  
 新技術・新産業創出による地域経済の活性化を目指す  
 連携施策群の目標  
 地域科学技術政策利用者の利便性の向上  
 シームレスな支援体制の構築  
 効果的な連携施策の検討  
 地域クラスター形成の阻害要因の改善 など

## 主な成果

利用しやすい制度に向上  
 ・合同説明会の開催等による利用者側の利便性の向上  
 ・府省担当者が他府省の制度に精通することにより、適切な制度の紹介が可能に

研究開発支援の継続性が向上  
 ・制度間のつながりが向上し、実用化に向けたシームレスな研究の流れができつつある

情報活用の向上  
 ・ポータルサイトの整備により、情報の共有、活用、研究成果の利活用が向上している

## これまでの活動

地域ブロック協議会の設置と活動  
 ・全国10ブロックで関係府省の出先機関と自治体等が連携  
 ・合同施策説明会、研修会、成果発表会などの実施  
 ・ワーキンググループ、タスクフォース会合の開催  
 ・関連施策の整理。府省間の施策調整  
 ・H19概算要求前に留意事項の文書を策定  
 研究助成制度における他府省連携枠の創設  
 ・文科省、農水省、経産省の3事業(H18:36.5億円)  
 地域イノベーションの構造分析と施策効果の調査  
 地域科学技術ポータルサイトの整備

## 今後の課題

地域間で取組状況の差があるなどの点を改善するため、情報提供や働きかけの強化を図る必要がある。

連携施策群の目標達成に向け、より効果的な連携施策、手法の検討を行い実施に移していく必要がある。

# 地域科学技術クラスター 具体的成果事例

### 【地域ブロック協議会の取組】

- 協議会の開催 全国10ブロックで年1,2回の開催  
 府省連携の取組内容
- ・各地域ブロック内における地域科学技術振興施策に関する情報共有
  - ・地域科学技術振興施策に係る合同成果発表会の開催
  - ・地域科学技術振興施策に係る合同施策説明会の開催
  - ・その他地域技術関連イベントの共催、共同展示会の実施
  - ・地域における科学技術ウェブサイト等の開設
  - ・各機関担当者に対する研修会の実施
  - ・取組事例集の作成
- など



産業クラスター・知的クラスター等の合同発表会(H18.2.15)  
 北陸ブロック地域科学技術振興協議会の出展ブース風景



H17近畿地域ブロック協議会風景(H18.2.23)